

令和7年度 第2回 若葉区民対話会  
(市民ネットワークちば わかば)

令和7年10月24日(金)

1. 開会

2. 代表挨拶

3. 若葉区より話題提供

(1) 区の事業等について (お知らせ)

① ラジオ体操 in 動物公園 (千葉開府 900 年記念)

- ・「若葉区はラジオ体操区！」というスローガンのもの、ラジオ体操団体の支援に取り組んでおり、活動団体は 50 団体を超えている
- ・年に 1 度、団体が集まる機会を設けたらよいのではないかと考え、動物公園でラジオ体操を実施した
- ・来年度も開府 900 年記念で実施予定

② 若葉区民まつり

- ・区民まつりが 11/2 に東京情報大学で開催されるため、ぜひお越しください

③ いちごマラソン (900 年事業)

- ・若葉区もりあげ隊という有志団体が企画している
- ・特別ゲストも呼ばれており、参加者には若葉区の魅力を楽しんでもらいたい

(2) 空き家の相談について (市民から多い相談)

① 管理活用支援法人

- ・全国的にも問題になっているが、空き家の相談が多い
- ・報道発表もあったが、管理活用支援法人というものの募集が始まっている
- ・早ければ今年度中に空き家の相談に乗れるような団体を市が指定し、市民からの相談を受け付ける

② 空き家に関する現状について

- ・市全体として住宅や世帯数は増えており、空き家の割合は 10%を超えている。  
若葉区は市全体の平均より多い (R5 年度)

- ・ 空き家のうち、管理が行き届いていない旨の相談が寄せられたものについて、区・地域づくり支援課・相談班が対応している
- ・ 年間 230 件を超える相談をもらっており、班員 4 名で対応している
- ・ 区の対応としては「所有者の特定」、「現状の確認」、「現況に基づいた所有者への書面送付」など。たとえば「代執行」のような直接的な対応は、相当高いハードルが法令で定められているため、やはり所有者に管理を促すという対応が中心になる
- ・ 所有者は法務局で登記を取得して調査する。登記は区役所でなくてもとれるため、相談者本人でも取得可能。
- ・ 近所づきあいの範疇で連絡先を知っている場合は、その手段が最短の場合も多いため、できる限り日常的に地域コミュニティづくりを心がけてもらえると、空き家問題にも対応しやすくなる

### (3) その他お知らせ (HP 公開資料提供)

- ・ 若葉区連協活動研修会について
- ・ 新しい北谷津清掃工場について
- ・ 再生資源物屋外保管条例について

## 4. 質疑応答

空き家の管理活動支援法人について。法人は定款で定められた業務しかできないためハードルが高いのではないかと。たとえば町内自治会や個人なども対象に加えてみてはどうか。「法人だから安全」ということはない、志ある個人などを活用すべきではないかと。

- ・ 都市安全課で事業の検討をしているため、詳細の経緯は不明であるが、たとえば不動産売買なども絡んでくるため法人を絞っているのではないかと。まだ制度ができたばかりであるため、今すぐに対象を見直すことは難しいと思うが、今後対象が拡大される可能性はあるのではないかと。
- ・ また、住まいのリユースネットなどもあるため、そういったサービスの活用も検討していくことであるため、そういったサービスの活用が具体化してくると、個人への展開も期待できるのではないかと。今後の動向を見守っていただきたい。

木更津で起きたナイジェリアの移民問題について。白紙撤回されたが、千葉県は移民の受け入れに積極的。治安や教育現場への影響は。たとえば給食のハラール食提供など。千葉市の受入方針は。何か進言できる方法は。

- ・ 外国人については、ゴミ捨て問題や文化の違いなど、地域の問題が生じているという話も聞いている。たとえば多言語のゴミ出し案内などにより支援しているが、それでも問題がすべて解決はしていない。
- ・ 排除はせず融和に向けて取り組んでいる印象。若葉区で言えばスクラップヤードで稼働しているのは外国人が多い。朝早くからの騒音で近隣住民が文句を言っても通じないという話を聞く。どこの国の人でもルールは守らなければいけない。排除というレベルは国が動かないとどうしようもないが、地域としては融和に向けての努力が必要と思う。

ハラールの給食はどのくらい配慮しているのか。ハラール食に合わせて日本の子どもが犠牲になるのはおかしいのではないか。税金が移民に使われている。融和とは言うが、数が増えるとそれを武器に物申してくる。ヨーロッパでも問題になっている中で、日本は増やそうとしているのはどうなのか。一番身近の区から市、国に伝えてほしい

- ・ 意見に感謝する。千葉市では現状特定宗教に配慮した給食は提供していない。

「森林環境税」という言葉だけを聞くと森林が守られるように聞こえるが、明治神宮や葛西臨海公園、鴨川などさまざまなところで自然が破壊され、ソーラーパネルが設けられている。森林破壊税ではないか。SDG s と反する営利目的の動きではないが何に使われているのが明確でないため、もっと発信した方がいいのでは。

- ・ 森林環境税は森林の整備や管理を目的とした国税。目的は保護だけでなく、たとえば伸びすぎた木の管理など他のことも含まれているため、「保護」だけを目的にしたものではないことに留意願いたい。

・ 街路樹は何をもとに伐採しているのか。桜がきれいなみつわ台でも、切られている。伐採はどこが監督しているのか。

- ・ 大宮小学校の綺麗な桜が、地域の要望があったためか、切られてしまった。
- ・ 高齢化により地域が管理できなくなったことによる伐採もあるのではないか。

- ・ 街路樹伐採については、行政が勝手に切ると地域からの反感もあるため、地域の意見を聞きながら切っている。強風で倒れる可能性があるものなどを優先して、地域と相談しながら切っている。みつわ台についても、地域の意見を聞きながら、伐採した分を植えながら進めている。
- ・ 学校の敷地は市教委が管理しているため、危険性などの理由から伐採することはあるかもしれない。
- ・ 個人的には「一度に切りすぎでは」と思うこともある。植物が育つには時間がかかるため、植え替えるとしても数年はさみしい時期もあるかもしれない。おっしゃるように、昔は地域で落ち葉などを処理していたが、今は高齢化などで作業ができず伐採するというケースもあると思われる。

健康への被害が懸念される5G電波塔はどのくらい区内にあるのか。今後の計画は、木が5Gを吸収してくれるという話を聞いたことがある。

- ・ 電波塔については、たとえば電波が弱いことが課題となっている地域があれば行政から打診することもあるかもしれないが、基本的に民間事業者が建設しているもので行政がコントロールできるものではない。本数については、事業者に聞いてもらえれば分かると思う。

障害のある方たちを支援する団体に属している。旧・花の美術館にも納品していた。民間委託になってから途切れてしまった。民間委託により障害者の仕事が無くなってしまった。清掃や入力など、区からも発注できるのではないか。

- ・ 障害者関連団体への発注については、かつては少なかったが、県内や他政令市と比べても千葉市は積極的に業務を発注している。若葉区でも少しずつ発注できる業務を見つけて発注している。

若松台小学校の適正配置について説明会が開かれたようだが、地域にお知らせが回覧されたのが説明会開催の2日前だった。遅すぎるのでは。

- ・ 区ではなく市教委から自治会に送付して回覧を依頼しているため、市教委にも情報提供しておく

孫がみつわ台北小学校の通学中に源弁天公園の脇を通るが、車の抜け道になっている。50～60km 以上で飛ばしている。大きな事故も起きているが、警察は真剣に取り組んでくれない。一方通行にする、速度規制をする、などの対策をずっと提言しているが、何も変わらない。「速度落とせ」と書いてあるが、薄くなっていることもあり、効果がない。自治会から要望を出したが変わらない。区で対応できないか。時間通行止めにとできるとよいのでは。

- ・ 若葉区連協要望として上がってきていないため、どこかで要望が止まっているかもしれない。後ほど詳細な場所を伺いたい

防災について。高齢者の足で近隣の学校などに避難することも困難な場合があるため、もともと団地の集会所を避難場所にしてきた。そのように地域内で避難するように周知しても、行政に認識してもらっていないと物資供給などがされない。市の地域防災計画が見直され、自治会の集会所を避難所に指定できるようになったと聞いたが、どのように市に認識してもらえばよいのか。

- ・ 令和元年台風を受けて、住民のもっと身近な自治会館などに避難できるといいのでは、という考えのもと制度が変わった。
- ・ 市の防災対策課に申請して指定する流れになるため、相談してもらいたい。

大宮台で火災があったが、そのままになっている。どうにかできないか。

- ・ 区役所でも状況を把握して対応しているが、所有者が火災で死亡している場合は相続等も絡んだ複雑な問題となり、相応の期間を要する。  
所有者が対応するという原則に則りながら、できる限りの対応をしている。